

(様式3)

## 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>			
<b>1.理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>法人の理念に基づいて職員で考え、ふたばの憲章を作成している。誰でも見れる場所に提示している。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>月二回の会議、日々の実践の中で、ケアに必要な事柄や必要とされるものは、早急に話し合い実施できるよう取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>入居前、入居後も利用者や家族に対し説明をしている。玄関入口にファイル、パンフレットを置き、誰でも閲覧出来る様にしている。</p>	
<b>2.地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩や畑仕事など、日々の生活の積み重ねの中で町内の方と顔馴染みになり、声を掛け合う関係が増えてきている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会の催し、清掃の参加、利用者のお誕生日会等お互いに行き来し、恒例化されてきている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		<p>近況の手紙に付け加え、H19 4月からふたば便りも送付しており、家族から非常に喜ばれている。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	出来るだけ馴染みの環境をを作る為、異動は現在のところ行っていない。又退職者がいつでも気軽に来れる環境を作り、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受ける機会を設け、研修で得たものを現場で生かせるよう努めている。		職員の段階に合わせた研修会の参加を予定している。
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	いつでも話し合いできる環境を整え情報公開をしている。又サービス内容の共通理解を深める為にもパンフレットの設置を行い、利用者に分かりやすくしている。		地域の同業者との意見交換の場も考えていきたい。同じ法人内（GH）での研修は施行した。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	業務上の悩みは職員同士で気軽に話し合える環境にあり、会議でも話し合える。個人的にホーム長に話したり、アドバイスを貰えたりできる環境にもある。希望休も取れており気分転換が図れている。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	働きやすい環境を整え、お互いに向上心が持てるよう働きかけている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居から2年8ヶ月の中で信頼関係を構築してきた、利用者から何でも言える環境になっている。表情や様子などの変化に気付くように努め、話を聴く時間を大切にしている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族会もある事から、利用者と家族、家族同士との交流する機会も多くあり、気軽に何でも相談できる環境にある。職員全員が家族とのコミュニケーションを大切にしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>実際にふたばを見て頂き、家族からの情報を確認、説明を行う。何が必要かを見極め、利用者、家族との話し合いを深め、支援の方向を定める。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>情報提供、家族からの聞き取り、本人の様子等を的確に捉え、まず不安を軽減することに努める。今迄の生活スタイルから大きく環境を変えないように努めている。改善が必要時は会議などで話し合い、ケアプランを変更し対応に努めている。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家事全般における、個々の利用者の持ち得る能力を引き出せるよう日々工夫し、食事作りでも教え教えられる環境においている。ニーズ的に農家の方が多く、畑作りについては多くの事を職員は利用者から学んでいる。お互いに共感し合える関係を築いている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	入居前の事前面接から家族会を立ち上げる趣旨を説明し、利用者が安心して生活できる環境を利用者、家族、職員が一丸となって支えあう関係を築いてきた。		
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	認知症による思い違いや、思い込みに関する感情の起伏の理解など、来所時、家族会等の交流時などに、自然な流れの中で説明をするなど、橋渡し役を職員全体で行っている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの付き合いのある方、近所の方等も来所されており、どなたでも気軽に来所できる環境を作っている。		
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気が合う合わない等を把握し、常に支え合う気持ちを利用者と話し合い、皆が、助け合えるよう支援している。		
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も、家族からの相談等にも気軽に応じている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>今迄の生活の把握に努め、十分時間を掛け、個々の希望を尊重した対応に努めている。</p>	<p>自分自身を素直に出せる人、出せない人に差が出る為、9名全員が寄り良い暮らしができるケアをしていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>事前面接時、本人、家族から出来る限り詳しく生活歴の情報収集に努め、一人一人がその人らしい暮らしを大切に出来るように努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>本人の能力を個々に引き出しつつ、本人のペースに合わせた過ごし方が出来るように努めた。</p>	
<b>お</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>必要な関係者から情報収集を行い、個々にケアカンファレンスを行い、今後の方向性を決定し取り組んでいる。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状況の変化に応じて、家族、ドクター共に相談の上、ケアプランの見直しを行っている。見直したプランは、全員の周知徹底を図り、家族に送付し再度確認をしている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の生活の記録、個人の記録等を p c に打ち込み月末にファイルしている。気付いた事等もノートに記入したり共有しながら、その記録をもとにケアカンファレンスを行い、介護計画に反映している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	いつでも、柔軟に対応が出来るような環境にしている。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	活発にボランティアの受け入れをしており、いつでも受け入れ体制は出来ている。		
41	他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて話し合い、相談をしている。		
42	地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	パンフレットの配布など、現状を報告をしている。今後共に地域の活性化に取り組みたい。		今後、協働していけるよう努力していく。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣のクリニックと医療連携体制が取れており、月二回の往診、又日常的に相談したり指示を仰いだり出来ている。		
44 認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医との関係がうまく取れており、何でも相談できる環境にある。		
45 看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ドクターからの指示で看護師の訪問もあり、日常の健康管理に必要な支援は出来ている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中の経過報告などの情報交換を密に行い、ホーム側も家族の希望があれば医師との相談を行い、早期退院の受け入れ体制を整えている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族には、都度の状態に合わせ説明を行い、必要時はドクター、家族を入れ話し合いを行い、方針を打ち出し、全員で方針を共有している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームで終末を迎えたいとの家族からの強い意向でかかりつけ医との連携のもと、安心した生活、看取りができた。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入退去時のダメージを最小限にする為十分な情報交換を行っている。</p>	
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者にとっての誇りやプライドを傷つけないように言葉掛けや対応を心掛けている</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>思いや希望を自由に話せる空間作り、話し合いや変化に応じて、力を引き出し本人が決める場面作りに努め、ペースに合わせて対応していけるよう心掛けている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>生活歴、性格の違いにより、一人一人のペースが異なる事を念頭に、どのように過ごしたいのかを知り支援していく。</p>	
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>服装も自由に選ばれ、理容面も定期的にボランティアがホーム内でカットされる。パーマ等の希望があれば同行できる体制がある。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食を中心に利用者、職員が、調理、配膳、片付けを一緒にしており、ほぼ全員が何らかの形で力を活かせるようにしている。いつも賑やかに活気があり、心身共に活かされています。		
55	利用者の嗜好の支援  利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	健康面で問題の無いところで、個々の嗜好を尊重するようにし、日常の楽しみが保てるように心掛けている。		
56	気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のサイクルを知る記録を基に、なるべく自然な状態で排泄可能に努めている。		
57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望を尋ね、納得のある段階で、入浴が出来るようにしている。		
58	安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	様子や状態に応じて声掛けし、休息を促している。就寝時間は安定している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割があることによる、張り合いや、喜びは大きく、個々の生活歴から力を発揮できる役割を探し出すように努めている。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者が使わなくても、お金を持つ安心感を求めている事を理解し、混乱を起さない限りで所持、必要に応じて使えるよう支援している。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩、畑作業に加えて、外食、外出の日を定期的に設け、ホーム内に引き籠もらないように支援している。		平成18年11月には利用者全員、家族、職員で一泊旅行を実施し喜ばれた。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	宗教的、娯乐的、故郷の山が見たい、四季の花が見たい等、その時々希望、必要に応じて行っている。		
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話の設置もあり、気軽に家族などに連絡を取られている。家族からの電話の取次ぎ、手紙のやり取りも自由にされている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に誰でも入ってこれる雰囲気を作り、プライベート、状況に合わせた場所を提供し、居心地良い空間作りを心掛けている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを実践しており、身体拘束は行っていない。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間、外出以外は常に鍵を開けており、急な飛び出しにも職員の目配りで対応しており、心理的安定を図っている。		玄関にはドアベルを付けている。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	リビングより、居室の入口も見渡せ、玄関の出入りも自由である事から、時々、一人で畑に行かれたり、分かり難い事もあるが、すぐに対応出来るように努めている。急な飛び出し以外は、行動パターンを把握している。		夜間、早朝は職員が一人になる為、注意の徹底を図り利用者の安全に努めたい。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	配置する場所等に気を配り、危険防止に努めている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	あらゆる事故を想定し、予防に取り組み、又ヒアリハット作成時には、職員間で検討しその原因や今後の対策を話し合っている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	協力医院の指示のもと会議内で検討したり、マニュアルによる職員の勉強会もあり、急変の対応時、医師への連絡が取れるよう確保している。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に、日中、夜間を想定し非難訓練を行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	必要時、家族に報告、相談、会議当でも議題を挙げ、対応策を話し合っている。	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	決まった時間にバイタルチェックを行い、日々の変化や様子の変動に注意し、必要に応じてドクターに相談し早急に対応している。	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	服薬説明書により、各職員が統一した理解をしており、確認も出来ている。	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	排便チェック表を作成し、常時注意を払いきなこ牛乳、ヨーグルト摂取、腹部のマッサージ、散歩等、自然排便を促している。又自力排便が難しい方にはドクターに相談している。	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	起床時、就寝時に口腔ケアを促し、必要な方には介助している。歯肉、入れ歯の状態等も注意して観察し、トラブルがあれば歯科医師に往診もお願いしている。	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	一日の総カロリーは1400カロリーを基準としている。朝、昼食分は、栄養士の献立を参考に考えている。水分を十分摂取出来るよう最低一日3回はお茶の時間を作っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防や対応について資料をファイルし職員に配布している。県からの最新情報も綴じられ、朝のミーティング等で話し合い、周知を図っている。又予防の為、手指消毒の徹底やチェック表で確認したり徹底して行っている。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、食器等は乾燥機による熱消毒、布巾類は塩素系漂白剤、テーブル、冷蔵庫はアルコール消毒にて管理、冷蔵庫内も一日一回チェックし賞味期限にも注意をし管理している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るさや居心地の良さが出るように常に花を絶やさず、家庭的な雰囲気を中心掛けている。又玄関先には、行事毎の写真を展示したり、各利用者別の写真を置きいつでも見れるようにしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	団樂の場として集まるリビングには、それぞれが自由に過ごせる場があり、趣味を広げてみたり、その時々花、展示物で季節感を感じ、話題も沢山生まれている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、廊下のいたる所にベンチを設け、リビング中央にはソファがあり、気が合う者同士で会話したり、それぞれに過ごせる居場所がある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅より使い慣れた物を持ってこられ、季節によって家族も気をつけて衣替えをして下さる。本人も居心地良く過ごせている。		
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝には窓を開け空気を入れ替える。温度調節は動きの少ない利用者を主体とし衣服の調整をしたり、各居室に湿度計を付け配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体機能の低下に伴い、トイレ内の手すりが同じ方向に設置、浴室内に手すりが不十分で安全とはいえない。		浴室、脱衣場に手すりの設置を考えている。
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の特性を活かし活躍できる場面を作り、成し遂げる達成感や自立できる喜びを持ってもらい、自信を高めていけるよう働きかけている。		今後も個々の力を活かせるよう支援していきたい。
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	居室前のベランダが各利用者の洗濯物の干し場となり、朝にはお隣同士で会話が弾みながら洗濯を干されている。玄関先には植木を置き、水遣りをされたり、ベンチ、テーブルを設置し散歩の休憩場所になったり、語らいの場所にもなっている。		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護をする、されるの関係ではなく、お互いに助け合い、認め合いながら共存して生活できる場を提供できるよう努力している。  
 家族会(なごみ)を設けた事で、家族との繋がりが強く協力体制ができている。その事も大きく反映され利用者が安心して暮らせる大きな要因になっている。  
 日々の生活の中で、役割は重要であり、家事全般の中で利用者ができる範囲で力を発揮できるよう働き掛けている。  
 実践して感じる事は顔色、表情が生き活きされてきた事、感謝等ここで暮らせる喜びを感じられた事、言葉数も増え、意識レベルのアップを感じる事ができた。